

理学療法のルーツを知るセミナー

講師 渡邊 宏樹

湘南藤沢徳洲会病院リハビリテーション室長・立命館大学大学院先端総合学術
研究科・呼吸療法認定士・心臓リハ指導士・心不全療養指導士
Knowledge Link代表



なぜ「Physical」を「理学」と訳したのか。

極論すればこれを知るためのセミナーです。普通「Physical」を訳すとき、「身体的な」とか「肉体的な」とかが一般的だと思います。あるいは「物理的な」などでしょうか。そう考えると「Physical Therapy」を「理学療法」と訳すのは少し不自然です。なぜこのような不自然な日本語に訳されたのでしょうか？江戸末期～明治維新に遡り、その理由を紐解きます。

整形から始まったのか。呼吸か、それとも物療か。理学療法はどのように始まったのか。

理学療法のルーツを知ることは、理学療法がどのように成り立ち、発展してきたのかを理解することです。そして、その発展の過程に影響を与えた重要な出来事や人物を知ることです。過去の理学療法の先人たちが直面した課題や困難、そしてその克服に関する知識を得ることで、自らの役割や責任をより明確に認識することができます。理学療法士としてのアイデンティティや使命感を高めるためにルーツを知ることは不可欠です。

例えば、なぜ開業できないのか、なぜ名称独占なのか、ほとんどの療法士は説明できません。

ほんの一例ですが例えば、理学療法士にはなぜ開業権がないのか、なぜ理学療法士は名称独占なのか。そのルーツを知らなければ、開業権を獲得する意味や、名称独占ではなく業務独占になることの意味を理解することはまず無理です。

例えば、理学療法「評価」が、法律上、理学療法士の業務内容から削除された理由はなにか。

理学療法士及び作業療法士法では、その業務内容として理学療法評価が削除されています。理学療法評価は法律上、理学療法士の仕事ではないことになっています。原案にはあったはずの「理学療法評価」が削除された理由とは何か。紐解きます。

理学療法を教える立場の人々にこそ知ってもらいたい知識です。

リハビリテーションの近代史を学ぶことは、「そもそもどこから始まったのか」「なぜこの方法が出来上がったのか」を学ぶことです。さらに言えば、「どの方法が衰退して」「どの方法が進化したのか」を知ることもあります。

今いる場所から一歩先に進む為には、そして、さらに深く理解する為には、これらを理解することが必要です。

リハビリテーションの近代史は昔ばなしなどでは無く、むしろ未来への道しるべとも言えるべき知識です。これから理学療法を学ぶ人にも、すでに理学療法を生業にしている人にも、そして今、理学療法を教えている人にこそ、ぜひ知ってもらいたい知識です。

セミナー内容

対象: PT / OT / ST

- ① もともと物理療法から始まった理学療法。東大に物理療法学教室が誕生します。この歴史を知ることによって「Physical」がなぜ「理学」と訳されたか理解することができます。
- ② 整形外科、小児療育として始まった理学療法。整形外科手術後の治療体操やマッサージを理学療法の起源とする考え方です。これらの治療を担った「術手」がのちの理学療法士です。理学療法士に開業権が無いのはなぜか、名称独占なのはなぜか、ここで紐解かれます。
- ③ 結核の治療法としての理学療法。かつて世界的に猛威をふるい死の病として恐れられた「結核の治療」として運動療法が行われました。これは現代でいえば呼吸理学療法。しかし当時はこれを「結核の作業療法」と呼んでいました。
- ④ 学療法。しかし当時はこれを「結核の作業療法」と呼んでいました。
- ⑤ 理学療法士及び作業療法士法がどのように作られたのか
- ⑥ Physical Therapyが理学療法、Occupational Therapyが作業療法と、2度の多数決で命名された経緯
- ⑦ 開業権がないことの意味、そして、名称独占(理学療法士でない者が理学療法を行えること)の意味
- ⑧ 理学療法の未来

日時

2024年10月27日(日) 13:30~15:45(予備時間16:00まで)(13:15~Zoom受付開始)
定員:30名程度 / 参加費:4,500円(税込) / 最小遂行人数:10名

お申し込みは **Webサイト** で賜ります

ナレッジリンク

検索

<https://www.knowledgelinkreha.com>


ナレッジリンクHP